



# ふじみだい

## つながる「ふれあいフェスティバル」

校長 山本 加奈代

東門のすぐ横に淡いピンク色をした「皇帝ダリア」の花が咲いています。冬の空へ向かうかのように咲く姿は、とても美しく、雄大な雰囲気醸し出しています。

11月16日（土）にふれあいフェスティバルが行われました。午前中のミュージックフェスタでは特別合唱クラブ、各学年の合唱や合奏を発表しました。一人一人が心を合わせて演奏する姿に胸が熱くなりました。また、当日まで取り組んできた姿からも、子どもたちの思いが十分伝わってきました。児童の実行委員会では「つながるプロジェクト」に取り組み、児童、保護者、地域、教職員のつながりを大切にしました。メッセージボードには予想以上の感想が寄せられ、子どもたちも達成感を味わうことができました。

午後のなかよしふれあいフェスタでは、他学年のペアと一緒に各ブースを回りました。市民図書室、ゆめ学童保育、放課後キッズクラブ、文化・スポーツクラブ、保土ヶ谷区青少年指導員、そしてPTAの皆さん（広報委員会、保健委員会、学年学級委員会、校外委員会、選出委員会、会計監査、PTA本部）にもご協力いただきました。各ブースの充実さと工夫に驚かされました。

ブースを回っている私に、ある児童が話しかけてきました。「校長先生、今日はいいい日だね。」午前は自分のがんばりを発表し、午後は各ブースで楽しい時間を過ごせたことが「いい日」という言葉に込められているのでしょうか。このふれあいフェスティバルは、みんなが集まる場をつくりたいという思いからスタートし、今年で29回目を迎えました。保護者、地域の皆様のご協力、ご支援に改めて感謝申し上げます。

フェスティバルのような音楽等の学習や体験を通して、互いの心と心が触れ合う瞬間に、子どもたちは成長しています。楽しいと感じる時間、いいなと感動する時間、美しいなと心を寄せる時間を多くの人々で共有することで、またやりたいという気持ちが自然に生まれてきます。

日々の生活の中でこういう時間を大切に、主体的に取り組む富士見台小の子どもたちの育成に今後も努めてまいります。